

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成20年5月15日 (2008.5.15)

【公表番号】特表2005-536347(P2005-536347A)

【公表日】平成17年12月2日 (2005.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-047

【出願番号】特願2005-501749(P2005-501749)

【国際特許分類】

B 0 1 D 39/16 (2006.01)

B 0 1 D 61/14 (2006.01)

B 0 1 D 63/06 (2006.01)

B 0 1 D 63/08 (2006.01)

B 0 1 D 63/14 (2006.01)

B 0 1 D 69/10 (2006.01)

B 0 1 D 69/12 (2006.01)

B 0 1 D 71/26 (2006.01)

B 0 1 D 71/30 (2006.01)

B 0 1 D 71/34 (2006.01)

B 0 1 D 71/42 (2006.01)

B 0 1 D 71/48 (2006.01)

B 0 1 D 71/50 (2006.01)

B 0 1 D 71/56 (2006.01)

B 0 1 D 71/68 (2006.01)

【 F I 】

B 0 1 D 39/16 E

B 0 1 D 61/14

B 0 1 D 63/06

B 0 1 D 63/08

B 0 1 D 63/14

B 0 1 D 69/10

B 0 1 D 69/12

B 0 1 D 71/26

B 0 1 D 71/30

B 0 1 D 71/34

B 0 1 D 71/42

B 0 1 D 71/48

B 0 1 D 71/50

B 0 1 D 71/56

B 0 1 D 71/68

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月31日 (2008.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フィルタ構造と、

層になったポリマーのフィルタ媒体とを含み、

前記フィルタ媒体は、過フッ化ポリマー材料を実質的に含まず、前記層になったポリマーのフィルタ媒体は、1つの連続する媒体マット中で少なくとも3つの隣接する層の繊維からなり、前記フィルタ媒体は、5から35 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ の坪量と1から100 μm の厚さとを有し、各層は、水の20 $\text{mL}/\text{min}/\text{cm}^2$ の流速において0.2 μm の粒子について少なくとも98%の試験ろ過効率を有し、前記マットが5%から50%の固体性をもち

、

前記繊維は、0.03から0.5 μm の直径をもつ有機ポリマーを含むことを特徴とするフィルタ。

【請求項2】

前記1つの連続する媒体マットの固体性は、5%から30%であり、前記各層は、少なくとも98%の試験ろ過効率を有することを特徴とする請求項1に記載のフィルタ媒体。

【請求項3】

前記1つの連続する媒体マットは、5から100 μm の厚さと10 psi において水の10 $\text{mL}/\text{min}/\text{cm}^2$ より大きい流束を有することを特徴とする請求項1に記載のフィルタ媒体。

【請求項4】

前記フィルタ媒体は、多孔性の支持体と結合されており、前記フィルタ構造は、円筒状のカートリッジまたは平坦パネルフィルタを含むことを特徴とする請求項1に記載のフィルタ媒体。

【請求項5】

前記1つの連続するマットの厚さは、5から80 μm であることを特徴とする請求項1に記載のフィルタ媒体。

【請求項6】

前記フィルタ媒体は、平坦パネルフィルタ構造を含むことを特徴とする請求項1に記載のフィルタ媒体。

【請求項7】

前記フィルタ媒体は、円筒フィルタ構造を含むことを特徴とする請求項1に記載のフィルタ媒体。